

令和3年度奈良県犯罪被害者等支援施策協議会概要

1 開催日時

令和3年12月23日（木） 10:00～12:00

2 開催場所

奈良県文化会館 第2会議室

3 出席者

別紙のとおり

4 議事内容

- (1) 奈良県犯罪被害者等支援施策協議会会長及び副会長の選任について
 - ・委員の推薦によって、北條委員が会長に、赤崎委員が副会長に選任される
- (2) 意見交換「犯罪被害者等への支援について」
講師：Oishiサポートセンター代表 大石由紀子氏
 - ・Oishiサポートセンター代表 大石由紀子氏を中心に、意見交換を行った
- (3) 「奈良県犯罪被害者等支援計画」改定案について
 - ・「奈良県犯罪被害者等支援計画」改定案について事務局から説明
- (4) その他
 - ・令和2年度の事業実施状況等について事務局から説明

5 各委員等からの主な意見

◎議題2 意見交換「犯罪被害者等への支援について」

- ・性被害者を含む人身売買被害者が現在も日本で生じている現状がある。
- ・教育現場における生徒の性被害も多い

◎議題3 「奈良県犯罪被害者等支援計画」改定案について

- ・インターネットの通信機器を扱う業者に対し、未成年への弊害や啓発を行うよう行政から提言してほしい。
- ・支援について知る機会があった被害者とそうでない被害者の受けられる支援に、雲泥の差がある状況。支援のコーディネーターの設置を行ってほしい。
- ・被害者の目線にたった支援、被害者が使いやすい支援を考えてほしい。一年に一回程度、被害者、当事者の声を拾い上げる機会を作してほしい。
- ・県条例の改正も視野に入れて、より充実した施策、先進的な施策を実施してほしい。

◎議題4 その他

- ・学校現場での性教育が不十分な状況にある。教育について検討する必要がある。
- ・経済（施設、場所、支援員、支援員の育成）が必須である。それぞれの施設はあっても連携が取れていない現状にあるため、的確で迅速な支援のために、連携の仕組みづくりと、行政の介入が必要。
- ・被害者が助けを求められる環境をつくることが今後の課題である。

以上

令和3年度奈良県犯罪被害者等支援施策協議会 出席者名簿

日時：令和3年12月23日（木）
10時から12時
場所：奈良県文化会館 第2会議室

委員

氏名	所属等	分野
赤崎 正佳	奈良県産婦人科医会 会長	産婦人科医師
児島 早苗	特定非営利活動法人KENTO 代表	犯罪被害当事者 (交通事故遺族)
鈴木 友美子	一般財団法人奈良県交通災害遺族会 会長	犯罪被害当事者 (交通事故遺族)
高橋 ゆかり	社会福祉法人奈良いのちの電話協会 研修委員会委員	支援団体 (少年被害他)
福井 学	公益社団法人なら犯罪被害者支援センター 専務理事	支援団体 (犯罪全般)
二神 洋二	(一社)奈良経済産業協会 専務理事	事業主団体
北條 正崇	奈良弁護士会 弁護士	弁護士

計7名

講師

氏名	所属等
大石 由紀子	Oishiサポートセンター代表

県関係課

氏名	所属等
徳丸 典子	安全・安心まちづくり推進課課長補佐
山田 和宏	青少年・社会活動推進課長
西橋 奈穂	女性活躍推進課長
中村 三千代	NARAハート相談員
森本 晃司	こども家庭課係長

事務局

氏名	所属等
水谷 勝則	奈良県文化・教育・暮らし創造部次長
勝井 康晴	人権施策課長
西村 典子	人権施策課課長補佐
角谷 智子	奈良県警察本部警務部 県民サービス課犯罪被害者支援室室長補佐
戸上 悦子	人権施策課係長
山内 千尋	人権施策課主事